

各位

事業仕分けによる漢方薬の保険適用除外化に対して8割以上が反対 ～薬剤師向け緊急調査結果速報～

株式会社エス・エム・エス(本社所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:諸藤周平、以下当社)は、事業仕分けによる漢方薬の保険適用除外化の決定に関して12月4日～10日の期間に薬剤師を対象としたアンケートを実施し、その結果、103名の回答を得ることができましたのでその結果を公表いたします。
 ※過去のアンケート結果については、当社サイトにて公開しております。

【調査結果】

漢方薬の保険適用除外化に81.6%が反対。主な理由は「専門性を有するから」

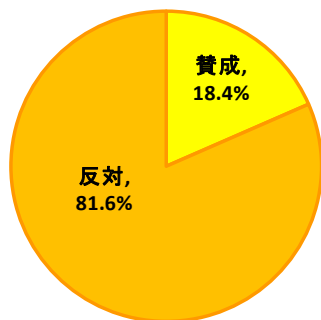
薬剤師103名に、「事業仕分けによる漢方薬の保険適用除外化の決定に対してどう考えるか」という質問をしたところ、81.6%が、「反対」と答えており、「賛成」と答えた18.4%を大きく上回る結果となった。(図1)

さらに、「反対」と答えた人にその理由を尋ねたところ、「漢方薬は化学医薬品と同等に、処方にあたっては専門性を有するから」と答えた人が76.2%と最も高く、以下「患者の負担増につながるから」、「効能などが複雑なのでOTCとしては扱えないから」、「医療費削減に貢献するとは思わないから」と続く結果となり、大半の薬剤師が反対しているという、漢方薬を服用する側にとって気がかりな結果となった。(図2)

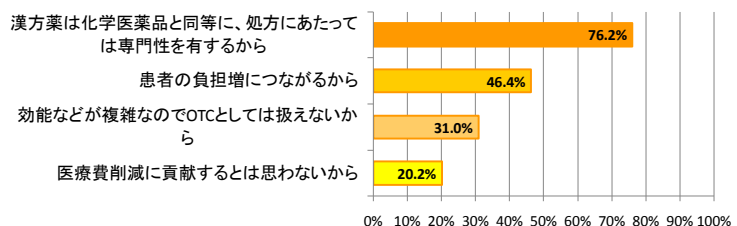
漢方薬の保険適用除外化に「賛成」とする中にも「専門家が処方すべき」との声も

同様に、先ほどの質問に対して「賛成」と答えた人にその理由を尋ねたところ、「もともとOTC(一般用医薬品)として取り扱うべきだと思うから」と答えた人が47.4%と最も高い結果となったが、その他の少数意見の中に「医師ではなく、漢方薬・生薬認定薬剤師が処方すべき」、「専門医師は可能にすべきで、専門でない医師が処方すべきではない」、「処方医が使いこなせていない」など、そもそも漢方薬が正しく処方されていない問題点を指摘した声も挙がる結果となった。(図3)

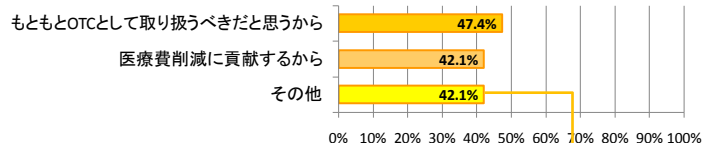
【図1: 漢方薬の保険適用除外化に対する賛否】



【図2: 反対と答えた理由】



【図3: 賛成と答えた理由】



「その他」の主な理由

- ・ 医師ではなく、漢方薬・生薬認定薬剤師が処方すべきだと思うから
- ・ 通常あまり処方されていないから
- ・ 処方医が使いこなせていないから
- ・ 価格競争により患者にとって利益が大きいため
- ・ 通常のビタミン剤など全ての医薬品を健康保険の対象にするのは合理的でないとと思うから

【調査概要】

■ 調査期間

2009年12月4日～12月10日

■ 対象

当社薬剤師関連サイト会員

■ 調査方法

インターネットを使ったアンケート調査

■ 有効回答数

103名

■ 主な対象となる資格

薬剤師(登録販売者は含まない)